

要 望 書

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭 81号岸壁の新規事業化について



霞ヶ浦地区の利用状況

令和3年2月8日

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会

平素は、四日市港の整備推進に関し、特段のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

近年、四日市市周辺地域では、新名神高速道路の開通や東海環状自動車道の整備が進み、四日市港を利用する多くの立地企業とを結ぶ道路ネットワークが充実したことで物流の大幅な効率化が図られ、新たな企業進出も進んでいます。また、今年度は北勢・中勢バイパスを繋ぐ鈴鹿四日市道路が新規事業化されるなど、港への道路アクセスがますます向上し、物流拠点として一層の飛躍が期待されています。

港湾物流では、東南アジア航路を中心に外貿コンテナ取扱量が着実に増加しており、コンテナ船の大型化も進んでいることから、そうした状況に対応した新たな岸壁整備が求められています。

また、完成自動車の輸出、移出入やエネルギー関連貨物としてバイオマス発電燃料の新規取扱、石油化学製品の原材料等バルクについても増加しており、生産能力の増強に伴い更なる増加が見込まれていることから、港湾機能の強化が求められています。

一方、港湾機能では南海トラフ地震など大規模災害に備え、素材型産業が多数集積する背後圏を有する港として、サプライチェーンの中心となる幹線貨物物流機能の維持に向けた耐震強化岸壁の早急な整備が求められています。

今後も、四日市港が背後圏産業の発展と地域の暮らしを支えていくためには、霞ヶ浦地区の貨物取扱機能の集約による高度化・効率化及び災害対応力の強化が必要不可欠です。

つきましては、かかる実情をご賢察のうえ、下記の事項について、特段のご高配を賜わりますようお願い申し上げます。

記

- 1 四日市港霞ヶ浦地区北埠頭へのコンテナターミナルの集約・機能強化、並びに災害対応力の強化を目的とした新たな耐震強化岸壁（W81）について、令和3年度に新規事業化すること。
- 2 南埠頭、北埠頭に分散しているコンテナ取扱機能を北埠頭へ集約し、南埠頭における完成自動車、エネルギー関連貨物の再編・拠点化を図り、利便性能を向上すること。

四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会 会長 種橋 潤治

四日市港における現状

1) 地域を支える物流機能

四日市港の背後圏には、自動車関連産業、産業機械等の製造産業、化学薬品等の素材加工型産業が数多く立地しており、コンテナ貨物取扱量の7割を占めるなど、地域産業を支える重要な役割を担っている。

2) 港湾と道路ネットワークの連携

近年、新名神高速道路や東海環状自動車道、北勢バイパス等の道路網のインフラ整備により、輸送時間の短縮など利便性が向上しており、背後圏物流が拡大するとともに企業立地が進展している。

3) 東南アジア生産拠点との取扱貨物量の増加

近年、背後圏立地企業の多くが、海外生産拠点を東南アジア諸国に展開しており、原材料の輸入や製品・基幹部品の輸出などコンテナ取扱貨物量の増加や、コンテナ船の大型化が進んでいる。

四日市港における今後の課題

1) コンテナ船の大型化に対応した港湾機能の不足

コンテナ船の大型化が進展している中、必要水深を満たす岸壁が不足しており、航路サービスの充実が図れない。

2) 災害時における物流機能の確保

コンテナターミナルの耐震強化岸壁が未整備であるため、南海トラフ地震等大規模災害が発生した際には、港湾物流機能が停止し、背後圏産業や経済活動に甚大な影響を及ぼす恐れがある。

3) 完成自動車・バルク貨物の取扱機能の強化

自動車メーカーの工場再編による生産台数の増加や輸送拠点機能の拡充、コンビナート企業の原材料の輸入増加やバイオマス発電燃料等、新たなエネルギー関連貨物の輸入増加に対応したバースやヤードが不足している。

霞ヶ浦地区の利用状況



W80 岸壁荷役状況
(コンテナ船 SEASPAN EMINENCE)



W24.W25 岸壁荷役状況
(自動車運搬船 あさか、さやま)



ますます便利になる背後圏の道路ネットワーク



開通済

- ・臨港道路震4号幹線 (四日市・いなばポートライン)
- ・新名神高速道路 (県内全線)
- ・東海環状自動車道(大安ICまで)

整備中

- ・東海環状自動車道 (西回り)
- ・北勢、中勢バイパス
- ・鈴鹿四日市道路 (R2 事業化)

四日市港の利用優位圏はさらに拡大！

北埠頭における耐震強化岸壁(W81)の令和3年度新規事業化を！

【整備効果】

- コンテナ取扱量の増加や船舶の大型化、航路サービスの強化
- コンテナ取扱機能の北埠頭への集約による物流機能の高度化・効率化
- 耐震強化岸壁の整備によるサプライチェーンの強靱化、災害対応力の強化



四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会について

四日市港に求める期待や要望を整備に反映させるため、四日市商工会議所と四日市港利用促進協議会が呼びかけ人となり、官民一体の「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」を令和元年9月に設立しました。

このたび、新たに2社（住友電装株式会社、AGF 鈴鹿株式会社）が加わりました。

会 員 名 簿

令和3年2月1日現在

役 職	企 業・ 団 体 名	職 名	氏 名
名誉会長	三重県	知事	鈴木 英敬
	四日市市	市長	森 智広
会 長	四日市商工会議所	会頭	種橋 潤治
副 会 長	四日市港利用促進協議会	会長	小林 長久
	本田技研工業株式会社	四輪事業本部 S C M 統括部 サプライチェーン推進部長	岡田 浩治
	中部電力株式会社	再生可能エネルギーカンパニー 四日市バイオマス発電所長	淡川 威
	株式会社 JERA	四日市火力発電所長 四日市 LNG センター所長	倉田 勤
	東ソー株式会社 四日市事業所	上席執行役員 事業所長	吉水 昭広
	コスモ石油株式会社 四日市製油所	取締役執行役員所長	禰津 知徳
	日本トランスシティ 株式会社	代表取締役社長 社長執行役員	安藤 仁
	名古屋四日市国際港湾 株式会社	代表取締役会長	石垣 英一
	住友電装株式会社	代表取締役 執行役員社長	川井 文義
	AGF 鈴鹿株式会社	代表取締役社長	塚本 祐司
	四日市港運協会	会長	小林 長久
	四日市港管理組合	副管理者	嶋田 宜浩
	全日本港湾労働組合 東海地方四日市支部	執行委員長	木村 幸嗣